

## II 学校評価

### 1. 学校評価の目的・定義と流れ

#### (1) 学校評価の目的

- ・各学校が、自らの教育活動やその他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的、継続的な改善を図ること。
- ・各学校が、自己評価及び保護者などの学校関係者等による評価の実施とその結果の公表、説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ・各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

#### (3) 学校評価の定義及び留意点

- ・自己評価 各学校の教職員が行う評価
- ・学校関係者評価 保護者などにより園について評価すること
- ・第三者評価 学校と直接関係を有しない専門家等による客観的な評価

#### (4) 学校評価の時期

月	学校評価	内 容
7月	・1学期実践の整理、評価	・行事の実践及び反省、評価 ・園経営や指導内容に関わる評価 ・今後の方針検討
12月	・2学期実践の整理、評価	・行事の実践及び反省、評価 ・園経営や指導内容に関わる評価 ・今後の方針検討
2月	・保護者アンケート実施（1回目） ・教職員自己評価 ・教職員自己評価 ・学校評価のまとめ ・学校評議委員会②	・自己評価の整理とまとめ
3月	・1年間の反省、評価 ・次年度の計画	・カリキュラムの評価 ・年間の成果、課題を基に次年度の計画

## 2. R3年度 学校評価活動の評価と反省

### ○評価の尺度

評価は、4（十分達成できている）、3（おおむね達成できている）、2（達成に努力が必要である）、1（達成できていない）の4段階の尺度を用います。

I 園経営			
☆共通理解・共同実践		評価	意見等
1	教育目標は幼児、幼稚園、地域の実態、課題に即応している	3.5	○保育者間での理解を深めるために教育目標を理解。 ○教育目標の周知方法の見直しを検討。
2	教育目標は職員、幼児、保護者に理解されている	3.5	
3	具体的重点実施事項を設定し取り組みを実践している	3.0	
4	教育課程に基づいて「計画・実施・評価」がなされ、次年度にいかし改善するようになっている	4.0	
☆組織づくり		評価	意見等
5	目標の達成を目指す分掌組織になっている	3.5	○全職員で協力して円滑に活動を行っている。 ○職員間でよく話し合い、こども園運営を行っている。 ○学年、学級相互の連携が取れている。 ○保育の手段ではなく、改めて目的を大切にする。
6	学年（年中・年長）・学級相互の連絡が円滑で、園全体として意欲や力を発揮できる組織になっている。	4.0	
7	職員会議で話われたことが教育活動や幼稚園運営にいかされている	4.0	
8	園務分掌の組織を確立し、各分掌が具体的に機能している	4.0	
☆危機管理体制		評価	意見等
9	安全点検は計画的に実施し、点検結果に基づいた方策が選択されて改善がなされている	4.0	○安全点検を計画的に行っていく。 ○幼児にケガが起きた時、危険な行動があった場合など、全職員で共通理解して、保育を進めている。
10	事件・災害・幼児の問題行動・園へのクレームに対し、全教職員が共通理解のもと適切な対応ができている	4.0	
☆環境整備		評価	意見等
11	教室や廊下等、幼児の活動の様子や季節に適した掲示を行い、安全面での注意喚起へも配慮した整備をしている。	4.0	○花や野菜の栽培を継続的にを行い、保育環境の改善を行えた。 ○幼児の安全を考慮した環境、遊びにつながる環境を心がけている。 ○古い園舎だが、清潔かつ使いやすいように工夫している。
12	栽培活動計画が計画的に推進されている	4.0	
13	学級園・学校園等、敷地内は美しく整備し、安全面でも配慮している	4.0	
☆施設設備・予算関係		評価	意見等
14	施設・設備は充実している	3.5	○遊具の改良や、園庭のベンチ

15	備品等の管理はきちんとされている	3.5	やテーブルの制作、木工制作コーナーの新設。
16	園地・園舎の維持管理について全教職員が協力して実施している	4.0	
17	予算の編成・執行等の方法や手続きは、適正に行われている	4.0	
☆園内研修（研修）		評価	意見等
18	園内研修は、研修主題に沿って、計画的に実施している	3.5	○園内研修で学んだことを職員間で共有し、実践に活かすことができている。今後、計画的に進めるための工夫が必要。 ○お互いの保育について、情報交換し合い、共に高め合っていると感じる。 ○研究保育を行い、多面的に子どもの姿や教師の援助について学ぶことができた。
19	園内研修の成果は、日常の教育実践の場で具体的にいかされている	3.5	
20	教職員がともに高めあう研究が推進できるように、意見交換や情報交換がなされている	3.8	
21	保育研究会を通して指導力の向上が図れるようにしている	4.0	
22	教職員一人一人が自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動を展開している	3.8	
☆情報の発信と連携（開かれた園づくり）		評価	意見等
23	幼稚園のホームページや各種の「便り」、『通知文』等で保護者や地域への情報発信を実施している	4.0	○SNSの更新を頻繁に行い、子どもの様子を発信した。 ○保育をより充実させられるよう、地域の人材も活用したい。
24	幼・小・中の連携を図るために、具体的な取り組みが実施されている	3.0	
25	保護者や地域との連携を密にし、幼稚園教育への理解と教育を得られるようにしている	3.5	
26	保育参観日の日程や内容は適切である	4.0	
27	地域を学習の場としたり、地域の人材を活用したりしている	4.0	
<b>II 指導内容</b>			
☆教育課程の編成と実施		評価	意見等
28	指導計画は適切に作成され、指導にいかされている	3.5	○保育を充実することができるよう、行事の精選をしていきたい。 ○週案等、指導計画を作成している。また反省・評価を行い、よりよい保育ができるよう努めている。 ○教育保育計画の見直しをもって保育を進めていきたい。
29	教育時間は適切である	3.8	
30	週行事の配置は適切である	3.5	
31	行事の精選は適切に行われ、計画的に実施されている	3.0	
32	全職員が週案を作成し、計画的に保育を実施している	3.8	
33	絵本などに親しむ為の活動が計画的に実施されている	3.2	
34	道徳性の芽生えを培うための活動の工夫がなされている	3.2	
35	体験的な遊びを重視し、教材の工夫や環境の工夫がなされている	3.8	
36	指導と評価の一体化が図れるように、計画的な評価を実施している	3.0	
☆幼児理解（指導・援助・教育相談等）		評価	意見等
37	一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を実施している	3.5	○生活習慣の定着のための取り組みを徹底し、家庭との連携

38	時間を守る、忘れ物をしない等の園生活に関わるきまりについて、意識が高まるように指導している	3.8	も図っていききたい。 ○園に足を運ぶことが少ない保護者との連携の取り方を考えていききたい。 ○ミーティング等で園児の実態や課題を共通理解し、対応することができていると感じる。
39	進んであいさつができるように、指導の充実や取組の工夫を行っている	3.3	
40	基本的な生活習慣の定着を図るための指導をしている	3.5	
41	個人面談や日常的な相談活動を充実させている	3.5	
42	全教職員の共通理解と協働により、いじめ・不登校問題行動等の予防や対応は速やかに、適切に行っている	4.0	
☆特別支援教育		評価	意見等
43	特別支援教育コーディネーターを置き、特別支援教育の充実に努めている	4.0	○支援が必要な子について、全職員で共通理解を図り、支援にあたっている。 ○それぞれの気になる幼児の記録を取り、巡回指導に活かしている。
44	幼児の障害の状態や特性などに応じた、個別の支援計画や教育課程を編成して、教育活動を実施している	3.8	
☆子育て支援		評価	意見等
45	園庭開放や未就園児交流が行われている	3.0	○0.1.2歳児の子育て支援を充実させていききたい
<b>III 健康教育の充実</b>			
☆健康・安全・食事指導の充実		評価	意見等
46	諸検査や健康診断等を通して健康な体を知り、健康の自己管理能力が育つように、発達に応じた保健指導を実施している	3.5	○調理師や栄養士と適宜連携を取り食育を円滑に進めることが出来た。 ○避難訓練や安全指導を定期的に行っている。 ○リズムジャンプやわらべうた活動を通して心身の健康の充実に寄与することができた。
47	手洗い、うがいなどの健康管理と、好ましい集団生活を送れるよう指導している	3.5	
48	園便りや保健便りなどの家庭への配布物をとおして、保健指導を充実させるようにしている	3.0	
49	おやつや昼食等を通して、食に関する指導を行っている	4.0	
50	交通安全指導、不審者対策、水難防止等のために、幼児の危機回避能力を高めるように指導している	3.5	

3 令和2年度 幼稚園教育に関する保護者アンケート

10月・1月実施

【評価 4. そう思う 3. やや思う 2. あまり思わない 1. そう思わない】

	10月 (61名) 回収率 69%				1月 (80名) 回収率 89%			
	10月 (61名) 回収率 69%				1月 (80名) 回収率 89%			
	4	3	2	1	4	3	2	1
18. 私は、子どもに朝食をしっかりとらせ	4	3	2	1	4	3	2	1
1. 園は、意欲的に遊びに取り組む子を	77	21	2	0	80	19	1	0
育てようとしている。(元気な子)	90	10	0	0	86	14	0	0
19. 私は、子どもに早寝・早起き・早登園								
2. 園は、優しいやおもしろいのある子を	41	51	8	0	44	45	11	0
育てようとしている	79	21	0	0	86	14	0	0
20. 私は、園行事やPTA活動に参加すよう								
3. 園は、善悪の判断ができ、ルールを	23	48	23	5	26	43	23	8
守る子を育てようとしている	82	18	0	0	90	10	0	0
21. 私は、子どもから一日の出来事などの								
4. 園は、意欲的に活動に取り組む、	72	26	2	0	70	26	4	0
頑張る子を育てようとしている	80	20	0	0	84	15	1	0
22. 私は、子どもと一緒に地域の行事に参								
5. 園は、基本的な生活習慣(あいさつ・	25	25	34	16	16	36	40	8
手洗い・うがい・身の回りの始末等)	82	18	0	0	86	13	1	0
が身に付く取組みや指導をおこなっ								
ている。								
6. 園は、集団生活のルールを守る指導を	85	15	0	0	89	11	0	0
おこなっている。								
7. 園は、話を聞く力、話す力が身に付く	75	25	0	0	81	19	0	0
よう指導している。								
8. 園は、小学校との連携ができていて、	79	21	0	0	87.5	12.5	0	0
1年生への移行が安心である。								
9. 園は、避難訓練や安全指導(交通安全・	82	18	0	0	84	16	0	0
防犯指導)などを行い、安全に対する								
意識や習慣が身に付くよう努めている。								
10. 園は、気軽に訪問でき、子どもについ	85	10	5	0	84	10	5	1
て相談しやすい雰囲気である。								
11. 教師は、言葉遣いや身だしなみに配慮	87	11	0	0	87.5	12.5	0	0
している。								
12. 園の、施設設備は整備され、子どもの	36	49	11	0	56	36	8	0
安全に配慮している。								
13. 園は、園の情報をホームページや園だ	70	26	3	0	69	29	1	1
より、各種お知らせなどを通して、分								
かりやすく伝えている。								
14. 園は、行事前の連絡がしっかりしてい	75	25	0	0	82.5	17.5	0	0
る。								
15. 園は、子どもの様子を話したり、知ら	80	16	3	0	85	11	3	1
せたりしてくれる。								
16. 園は、家庭や地域と連携しながら、教	72	28	0	0	78	21	1	0
育活動に努めている。								
17. 子どもは喜んで幼稚園に通っている。	79	16	3	0	85	13	1	1

ご意見等

【 10 月 】

\* 沢岷幼稚園は年少児の受け入れや、給食の導入などはあるのか気になります。

【 1 月 】

\* (項目) 12 を (評価) 2 にしたのは、校舎が古いせいであり、老朽化している中で、工夫して安全に配慮してくれていると思います。

\* 食育講話のこと、家で話してくれます。親にも良い勉強です。

\* 先生方一人ひとりの笑顔と、まずは『子どもが主体』であるという保育方針がよく見られ、親子ともに安心していきます。

\* 施設の工事が早く済み、安全安心に皆が生活できることを願っています。

\* いつも熱心に、身心の成長にお力添え頂きありがとうございます。卒園まであとわずかですが、引き続き宜しくお願い致します。

\* 天気によりますが、園庭で遊んだり、室内で遊んだりできていて楽しそうです。

\* がじゅまるの先生達も信頼して預けることができ感謝しています。いつもありがとうございます。

#### 4. 令和 2 年度 学校関係者評価

(1) 教育目標や諸取組計画についての達成状況に対する意見

○ 教育目標に即した実践がなされている。

(2) 取り組みの検証結果に対する意見

○ 成果に対する課題がわかる検証をしており、次年度の園経営の構想につながっている。

(3) 次年度に向けての改善策に対する意見

○ ホームページでも定期的に園の様子を伝えたり、じんじんメールも活用できないか。

○ 園舎の老朽化に伴う、安全対策。古い中で、施設をうまく活用されている。

(4) 園のよさと認められる内容

○ 子どもが主体である保育方針がみられる。

(5) その他

- 保護者アンケートの中で、保護者自身に関する評価が低い。『心がけている』という質問の仕方なので、もう少し高い評価になってもよいのではないか。

**5. 改善策**

- 保護者アンケートの結果で、多くの項目が、『3. やや思う』から『4. そう思う』への評価になっており、評価が高かった。引き続き、遊びを通した幼児教育の実践を高めていきたい。
- 項目 12『園の、施設設備は整備管理され、子どもの安全に配慮している』の項目は 56%と評価が低い。老朽化が進んでいるが、安全面に配慮していきたい。
- ホームページを通して、園での様子を伝えていきたい。

**6. R2年度 重点目標**

遊びや活動の中で、友達と一緒に考えたり試したりする子の育成